

2024年8月6日

独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

日本空港ビルディング株式会社

東京国際空港ターミナル株式会社

羽田空港国際線エリアで日本文化を紹介 高精細複製品「風神雷神図・夏秋草図屏風」「歌舞伎図屏風」

—四季を感じ、日本文化に親しむ展示“日本美術のつばさ×HANEDA”—



高精細複製品「風神雷神図・夏秋草図屏風」(展示期間：6/27～9/30)

第2ターミナル 国際線施設 3階出発ロビー

羽田空港では、日本を訪れる海外の方々や国内の皆さまにより広く文化財に親しんでいただけるよう、東京国立博物館が所蔵する国宝・重要文化財の高精細複製品を展示いたします。通常は限られた期間と場所でしか見ることのできない文化財を、高精細複製品で間近でじっくりとご覧いただけます。

展示のテーマは「日本の四季」。展示する高精細複製品は、季節にあわせて展示替えを行います。初回は「夏」をイメージした高精細複製品「風神雷神図・夏秋草図屏風」を、第2ターミナル国際線施設 3階出発ロビーに展示します(6/27～9/30)。四季折々のうつくしさを伝える日本の美術をお楽しみください。また、第3ターミナル4階「江戸舞台」に、高精細複製品「歌舞伎図屏風」(6/27～9/30^{*1})を展示します。

^{*1} ただし、同スペースでイベント開催の場合には展示はございません。



高精細複製品「歌舞伎図屏風」(展示期間：6/27～9/30)

第3ターミナル4階「江戸舞台」

プレスリリース

展示作品紹介

第2ターミナル 国際線施設 3階出発ロビー

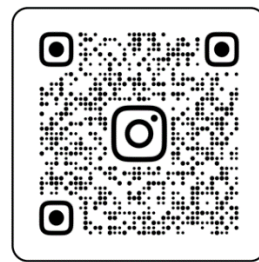
高精細複製品「風神雷神図・夏秋草図屏風」 6月27日(木)～9月30日(月)



原品情報：重要文化財「風神雷神図屏風」尾形光琳筆 江戸時代・18世紀 東京国立博物館所蔵



原品情報：重要文化財「夏秋草図屏風」酒井抱一筆 江戸時代・19世紀 東京国立博物館所蔵



CPCP_NICH

◁ 展示の様子

右側に風神、左側に雷神が描かれた、国内外でも人気が高い屏風です。風や雷といった、人間には抗えない自然の大きな力を、神の姿を借りてどこかユーモラスに描いています。「風神雷神図屏風」の作者は、尾形光琳（おがたこうりん）。そして、この裏に酒井抱一（さかいほういつ）があとから描き加えたのが「夏秋草図屏風」です。現在は作品保存のため、表と裏に分けられ、それぞれ別の屏風になっていますが、本会場で展示する高精細複製品は、表裏一体であった制作当時の姿を再現しています。これは、今では見る事が出来ない、この屏風の本来の姿です。

雷神図の裏には雨に打たれた夏草が、風神図の裏には、風神が巻き起こした風に吹かれているかのように秋草が描かれています。屏風の周囲をぐるりとまわって、表と裏の関係性もお楽しみください。

第3ターミナル 4階 「江戸舞台」

高精細複製品「歌舞伎図屏風」（右隻） 6月27日(木)～9月30日(月)



原品情報：重要文化財「歌舞伎図屏風」（右隻）菱川師宣筆 江戸時代・17世紀 東京国立博物館所蔵

「見返り美人図」を描いたことでも知られる浮世絵師、菱川師宣（ひしかわもろのぶ）が歌舞伎の劇場を描いたもので、中村座という芝居小屋の入り口が描かれています。舞台の上は役者たちが総出演の華やかな踊りの場

プレスリリース

面、舞台を見上げる観客はそれぞれに楽しんでいる様子です。よくみると、特別席でしょうか、御簾（みす）越しに芝居を観ている、身分の高そうな女性や、屏風で仕切られた席で楽しんでいる男性たちもいます。顔の表情、しぐさ、ファッションにいたるまで、一人ひとりが生き生きと描かれ、芝居小屋の活気が伝わってくるようです。

高精細複製品について

展示する高精細複製品は、独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター〈ぶんかつ〉とキャノン株式会社による共同研究プロジェクト「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究」の一環で制作・活用した作品と、「綴プロジェクト」から独立行政法人国立文化財機構に寄贈された作品を使用しています。

共同研究プロジェクトは、より多くの人に文化財に親しむ機会とより深い文化体験を提供することを目的に、2018年10月から継続して実施し、これまで15件の高精細複製品を制作しました。ガラスケースに入れずに間近で細部まで鑑賞できる展示や、教育機関向けのアウトリーチプログラム、映像と組み合わせた体験型展示など、オリジナルの文化財ではかなわない鑑賞体験を実現しています。

高精細複製品の制作には、キャノンと特定非営利活動法人 京都文化協会が進める「綴プロジェクト」の技術を活用しています。キャノンの入力、画像処理、出力に至るイメージング技術と、京都伝統工芸の匠（たくみ）の技との融合によりオリジナルの文化財を限りなく忠実に再現しています。

〈ぶんかつ〉が取り組む文化財複製品制作事業についてはこちらから

▶文化財複製の一覧 https://cpcp.nich.go.jp/modules/r_db/index.php?controller=list&t=db_hukusei

実施概要

会場 羽田空港

- ・第2ターミナル 国際線施設 3階出発ロビー
- ・第3ターミナル4階 「江戸舞台」

期間 2024年6月27日（木）～9月30日（月）

展示の内容および期間については、諸事情により変更する場合があります。

最新情報は文化財活用センターのSNS等でお知らせします。



Instagram で展覧会や文化財の話題を発信中！ ▶▶ [@cpcp_nich](https://www.instagram.com/cpcp_nich)

プレスリリース

文化財活用センター

2018年に国立文化財機構に設置された、文化財活用のためのナショナルセンターです。

「文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために、すべての人びとが、考え、参加する社会をつくる」というビジョンを掲げ、「ひとりでも多くの人が文化財に親しむ機会をつくる」ことをミッションとして、さまざまな活動をしています。

▶文化財活用センターウェブサイト <https://cpcp.nich.go.jp/>

原品の所蔵先

【東京国立博物館】

明治5年(1872)創立、2022年3月に150周年を迎えた、日本でもっとも長い歴史を持つ博物館です。収蔵する文化財は約12万件。日本から中国、朝鮮半島、西アジア・エジプトまでの地域を網羅し、土器や土偶などの考古遺物から浮世絵や刀剣、甲冑、近代絵画など、日本の美術史をたどることのできるコレクションとなっています。

※本リリースで紹介している原品は常設展示されていません。現在の展示に関する情報は東京国立博物館の公式サイトでご確認ください。

▶東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

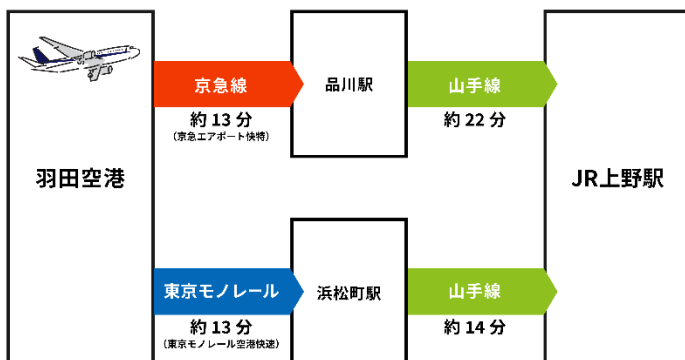
[交通案内]

JR上野駅公園口、または鶯谷駅南口下車 徒歩10分

東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分

京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分

羽田空港からのアクセス



本件についての取材・お問い合わせ

国立文化財機構 文化財活用センター 企画担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館東洋館5階

E-mail: cpcp@nich.go.jp

WEB: <https://cpcp.nich.go.jp/>

TEL: 03-5834-2856(直通)

FAX: 03-5834-2857

X(Twitter) @cpcp_nich
https://twitter.com/cpcp_nich

Instagram @cpcp_nich
https://www.instagram.com/cpcp_nich/

YouTube @cpcpnich
<https://www.youtube.com/@cpcpnich>